<table>
<thead>
<tr>
<th>Title</th>
<th>國際聯盟年鑑(青木節一編著, 朝日新聞社發行)</th>
</tr>
</thead>
<tbody>
<tr>
<td>Sub Title</td>
<td>間崎, 万里(Masaki, Masato)</td>
</tr>
<tr>
<td>Publisher</td>
<td>三田史学会</td>
</tr>
<tr>
<td>Publication year</td>
<td>1930</td>
</tr>
<tr>
<td>Jtitle</td>
<td>史学 Vol.9, No.2 (1930. 6), p.165(337)-166(338)</td>
</tr>
<tr>
<td>Abstract</td>
<td></td>
</tr>
<tr>
<td>Notes</td>
<td>書評</td>
</tr>
<tr>
<td>Genre</td>
<td>Journal Article</td>
</tr>
</tbody>
</table>
書評

『世界で逃れるアルペジオ』が、帰してジュネーヴで>
西洋史観
（浅野利三郎著）

歴史の軸をなすのが西洋史観。すなわち、西洋史観は、あらゆる文化を西洋中心として考察し、西洋史観の歴史的基礎を構成するものである。西欧を中心とした西洋史観は、古代ギリシャやローマの栄華を象徴するものである。また、中世ヨーロッパの文化伝統を背景に、近代ヨーロッパの発展を巡り、近代化の過程を象徴するものである。西洋史観は、西洋史におけるインポジメントを巡り、西洋史の歴史的進化を巡るものである。

しかし、西洋史観は、ただ西洋中心を巡るものではない。东西方の比較史観も、西洋史観の一翼を欠かさないものである。東西の比較史観は、西洋史観と並行して、東西の比較を通じて、東西の文化を巡り、東西の歴史的進化を巡るものである。

しかし、西洋史観は、ただ西洋中心を巡るものではない。東西の比較史観も、西洋史観と並行して、東西の比較を巡り、東西の文化を巡り、東西の歴史的進化を巡るものである。

西洋史観は、西洋史におけるインポジメントを巡り、西洋史の歴史的進化を巡るものである。

西洋史観は、西洋史におけるインポジメントを巡り、西洋史の歴史的進化を巡るものである。